

2022 年度上期 助成金交付先

2022 年度上期 助成金交付先として、以下の 5 社を選出し、7 月 29 日 (金) に交付式を行いました。

※ 申請受付順に掲載

< 1 >

交 付 先 リンクメッド 株式会社 (本社：千葉市稲毛区)

代 表 者 代表取締役社長 吉 井 幸 恵

業 種 放射性医薬品の研究・開発・製造・販売、放射性治験薬の受託製造

業務内容・研究開発内容

【 千葉県発放射性治療薬による革新的「見える」がん治療法の事業化 】

本プロジェクトは、旧放射線医学総合研究所 (放医研)、現国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 (Q S T) を中心に、10 年以上に亘り放射性薬剤を使ったがんの診断・治療法を共同開発するなか、低酸素化したがんに集まる放射性薬剤 ^{64}Cu -ATSM を研究・開発 (特許第 6656484 号) したことが、核となっている。

2018 年 7 月からは、 ^{64}Cu -ATSM を治療目的として世界で初めてヒトに投与するファースト・イン・ヒューマン試験 (第 I 相臨床試験) を国立がん研究センター中央病院と共同で開始しており、Q S T は本臨床試験における薬剤提供を担っている。

本治療薬は、酸素不足で治療が効きにくい様々ながんに対して効果が期待されることから、長年の研究開発の成果を医薬品として事業化すべく、当社を Q S T 認定ベンチャーとして起業した。まずは、 ^{64}Cu -ATSM を悪性腫瘍の治療薬として開発、医薬品としての承認を目指す。

また、千葉県内に ^{64}Cu 薬剤製造拠点を持ち、高品質の最先端放射性医薬品を首都圏のがん専門医療機関に毎日届けられるようにすることを計画している。

なお、本プロジェクトは「C H I B A ビジコン 2021」で千葉県知事賞、ちば起業家大賞を受賞している。



< 2 >

交 付 先 A&Mグループ 株式会社 （本社：千葉市美浜区）

代 表 者 代表取締役 坂 本 諭加子

業 種 卸売・小売業、音響機材の輸入販売、開発製造

業務内容・研究開発内容

【 世界初の IoT 技術を活用したサウンドプラットフォームビジネスへの挑戦 】

A&Mはアーツ&ミュージックの意味。2007年9月の設立以来、主にドイツ SPL 社やポーランド IGS Audio 社の日本における総代理店として、ヘッドフォンアンプやコンプレッサーといった音楽制作に必要な機材の輸入・卸売販売を主軸としながら、音源制作などの音楽プロデュース事業を展開してきた。

音楽プロデュース事業においては、当社が築いてきた経験や人材が開発力を支え、2009年の上海万博におけるピアノ収録や2018年のドイツにおけるワールドカップ公式曲のサウンドプロデュースやマスタリングを行うなど、技術的な裏付けとしての実績を有している。そうした中、「自分達で作る」ことに挑戦する」との考えから、2021年、世界展開を視野に入れたヘッドフォンのファブレス製造業へ新規参入を図った。

新規事業の柱は、当社が培ってきた音楽制作ノウハウにより生み出された独自のアルゴリズムを用いたサウンドチューニングアプリ「EarEffect」と、Hi-Fi サウンドとワイド感、濃密な低音を実現し音楽性・芸術性を融合させたヘッドフォン「GENESIS」であり、IoT 技術によりサウンドチューニングアプリとヘッドフォンを連動させることを特徴としている。「EarEffect」は単体アプリケーションとして、apple 社の AirPods をはじめ市場でリリースされる多くの機種に最適化されるプリセットを独自開発しており、サブスクリプション型にて世界展開される。

当社は、幕張を拠点として欧米市場への事業展開を目指している。



< 3 >

交 付 先 いぬいくら 株式会社（本社：柏市）

代 表 者 代表取締役 小 林 忠 祐

業 種 青果・青果加工品・その他食品卸売、食品原料の委託加工

業務内容・研究開発内容

【 アクアポニクスを活用した希少海苔製販一貫体制の確立 】

陸上養殖技術とアクアポニクス(一般に魚の養殖と野菜の水耕栽培を組合せたシステム)を活用し、希少な海苔の生産及び販売を卸売業者としては国内初として一貫して行うビジネスモデルの確立を目指している。

社名「いぬいくら」は、「本社の戌亥（北西）の方角に蔵があること」と「社長が戌年、専務が亥年生れ」に由来している。

代取は、以前高知県のスジアオノリ生産者より、陸上で海苔を生産できること、それが高知大学発の技術であることを知り、「孢子集塊化法」の開発者である高知大学の教授を尋ねるなど、孢子集塊化法を活用して陸上養殖を行う生産方法について関心を持っていた。また代取は、大学院MBAコースに入学し、複合陸上養殖の事業化についての実現可能性を研究テーマとしていた。

在学中の実証実験において、他藻類混入を防ぐため酸処理を行う従来の海上養殖と違い、本生産方法では酸使用が一切なく海洋汚染の心配がないことや、関東ではまだ陸上アオノリの生産がないことから、当社で取り組むこととした。

アワビの養殖事業を行う地元企業とパートナー契約を結び、同社の一部敷地を賃借して設備を設置し、海苔の生産を行っていく。



< 4 >

交 付 先 I N O 株式会社（本社：四街道市）

代 表 者 代表取締役社長 井上 暁

業 種 ペット用品輸入卸販売業、ドッグフード製造販売、トリミングサロン経営

業務内容・研究開発内容

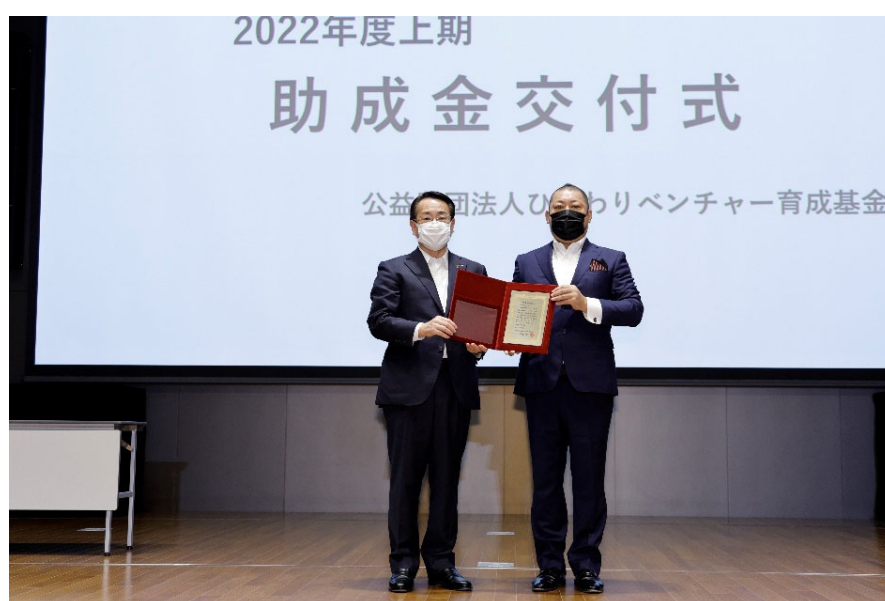
【 千葉発ドッグフードブランド「shin」の研究開発・製造・加工・販売体制の確立 】

当社は、2016年3月にペット用品輸入卸販売業、トリミングサロン経営として創業され、ドッグ専用シャンプーブランド商品を主力とし、①仏国からの輸入シャンプーブランド「BIOBGANCE」（日本での独占販売権保有）、②当社オリジナルブランド「BIOSIS」、③ペット用品の全国への販売、④直営トリミングサロンの経営など、輸入・加工・販売を手掛けてきたが、今回ペット関連総合企業としての発展を目指し、ドッグフード製造販売業への新規参入を図った。

新規事業のペットフード部門は、市場規模は3,000億円と言われ、ペット市場で大きなマーケットを占めている。本件プロジェクトのオリジナルブランド「shin」は、千葉のジビエ肉を中心とした干し肉にレア肉をラインナップし、研究開発・製造・加工・販売体制を構築し、千葉発ブランドで経営基盤の更なる強化を図っていく。

オリジナルブランド「shin」の優位性は、仕入れた肉を低温（70℃）で12時間乾燥させる独自の製法を採用していることで、酵素を破壊しないため消化吸収に優れているとしている。

仕入、検収・衛生管理、冷凍保管、加工、乾燥、真空パッキング、出荷検査、ラベリング、梱包、出荷、販売までの全てを当社が行っている。



< 5 >

交付先 株式会社 H e l t e (本社：柏市)
代表者 代表取締役 後藤 学
業 種 教育WEBプラットフォーム等の提供
業務内容・研究開発内容

【 S a i l プロダクト広告販路拡大 】

独自開発の日本語でのビデオ会話ができるアプリ S a i l により、日本のシニア層と外国人を日本語で繋ぐプラットフォームを展開し、予約、会話、評価、分析までを一気通貫で行っていく。

当社が考える解決すべき課題は、①日本のシニア層の社会的な孤立、②外国人日本語学習者の不十分な学習環境・日本文化理解の機会、③外国人就労者が就業するまでの就労プロセスであり、本プロジェクトによりワンストップでの解決が可能としている。

現在、アプリは、日本人は中高年、外国人は日本語や日本文化を専攻する学生や技能実習生を中心に利用が広がっており、世界 128 か国、総利用者数 1.6 万人、総会話時間数 6 万時間まで広がっている。

今後は、来日する予定の外国人就労者への「日本語の会話練習や日本文化の理解を深めるツール」としての利用がメインになると考えている。

現在のオンラインでの会話・交流を入口として、今後はサービスに蓄積されている外国人のユーザー情報を分析活用した「人材紹介」や、シニアの「健康維持」、「認知症予防」という新たなビジネスモデルへのサービス拡張を計画しており、実現に向けて大学や自治体等との産学官民連携も行われている。

